



前号では、ラテン語の表題「Disce libens」の意味を説明しました。『論語』も「学んで時に之を習ふ、亦た説ばしからずや。朋の遠方より来たる有り、亦た楽しからずや。」という、学問の喜びを語る孔子の言葉から始まります。（「説」は「悦」に同じ。「朋」は同じ師のもとで学んだ友。遠くから友人が来て楽しいのは、一緒に遊ぶからではなく、学問について語り合うからです。）東西の文明を支えたのは、やはり学問であり、知的好奇心です。

令和3（2021）年度入試総括①

令和3（2021）年度入試の総括をしておきます。



【共通テスト】

受験者数

志願者数は、53万5245人で、前年度（センター試験）の55万7699人から、大きく減少した。これは、入試制度が大きく変わることへの不安から過年度生（浪人）が減ったことが大きな理由である。実際の受験者数は48万4114人とさらに減少した。これは、出願はしたものの、コロナ禍で受験を取りやめた者が例年以上に多かったためだろう。

問題傾向（受験者の多い科目について）

解答マーク数が減少した科目が多かった一方で、文章以外にグラフ・地図・写真など読み取る資料の分量が増加した。授業における学習場面、日常生活の中から課題を発見して解決方法を構想する場面など、学習過程を意識した出題設定が見られた。

国語

実用文の出題はなく、問題文の内容はセンター試験に近いものだった。ただし、現代文（評論・小説）・古文・漢文ともに、複数の文章を（設問中の引用も含め）読み解く必要があり、一層速読速解力が必要となった。漢文は、去年に続けて漢詩が出題された。

数学

数学Ⅰ・Aは、記述式問題の導入のために試験時間が60分から70分に延長された。記述式問題の導入は見送られたが、試験時間は70分のまま。内容的には、解決過程を振り返る力を問う設問や日常の問題を数理的に捉えて解決を図る設問が見られた。

数学Ⅱ・Bは、新傾向の問題や数学Ⅲを学習していると有利かと思われる問題もあったが、問題文に誘導や解決のための構想が与えられていることが多く、特に前半は比較的得点しやすい内容だった。

英語

センター試験のリーディング200点・リスニング50点から、リーディング100点・リスニング100点と配点自体が大きく変更になった。これは本来、英語民間試験の導入を前提としたものだったが、民間試験導入が見送られても配点はそのままとなった。この配点は、バランスを欠くという批判もあり、大学によっては配点を調整するところも多いので、注意が必要である。

リーディングは、センター試験で出題されていた発音・アクセント問題や文法・語法問題や整序英作文問題が無くなり、すべて読解問題になった。試行調査よりも分量が増加し、速読速解力が求められた。

リスニングは、センター試験では音声は必ず2回読み上げられたが、共通テストでは、問題によって1回読みと2回読みが混在するようになった。1回のみ音声聞いて、聞き取った内容と資料やグラフを合わせて読み解く問題など、慣れていないと慌ててしまいそうである。なお、音声にはアメリカ英語以外も含まれた。

社会

日本史では、試行調査で見られた、史料・絵図・グラフなど多様な資料を用いた問題や、知識を活用して判断する問題、論理的な思考を求める問題が出題された。古代中国の地図を用いた、世界とのつながりに関する理解を問う問題もあった。形式は多様だが、センター試験同様、教科書レベルの知識をきちんと押さえることが求められる。

世界史では、会話文や資料が多用され、センター試験と比べて、問題分量は増加した。知識だけでなく、資料などの文章の読解が必要とされる。時代は、古代から現代まで幅広く出題されたが、近現代史が多い。

理科

物理では、法則を用いて計算する問題が減り、現象を正しく理解しているかを問う問題が増えた。日常的な現象を物理的に考察する問題も見られた。

化学では、やや難易度の高い問題や、計算量の多い問題もあった。選択問題の廃止や「化学」の後半で学習する有機・高分子化合物からの配点が40点に増えたことから、早期の取り組みが必要である。

生物では、特定の分野に偏ることなく、幅広い内容が出題されているが、センター試験と比較して、知識問題が減少し、考察問題の比率が高くなった。

ルビコン河畔 ～進路コラム～

今年のGWは緊急事態宣言で台無しでしたね。しかし時間は人間の営みに関係なく残酷に過ぎていきます。オリンピック開催は微妙ですが、受験生のリアルは共通テストまで248日。厳しいね～。余計なことに惑わされず冷静な判断。規則正しい生活習慣を確立してください。睡眠時間を削って深夜型の勉強法なんて時代遅れですよ。脳に記憶を定着させるには睡眠が不可欠です。早起きして登校前に1時間、授業が始まる前に教室で1時間。朝型勉強方法がお勧めです。そして気持ちを落ち着かせ、集中力を高めるためのルーティーン。MLBで活躍したイチロー選手などが有名ですが、あなたも試してみたら？毎回同じ手順で、例えば首を回して深呼吸してから勉強開始。終了後は必ず5分間ストレッチ、とかね。最終的に自分の心と体をコントロールできるのはあなただけです。

進路ニュース（5月の主な進路関係行事等）

■進路ガイダンス（3年）

※「緊急事態宣言」の発出により中止となった3年保護者会で配付予定だった資料は、連休前に生徒を通じて配付しました。（2年については、対応を検討中。）

